

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371001500
事業所名	グループホーム名古屋中川の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 地域の神社へ初詣に出かけ、お神酒や甘酒で舌鼓という日もあり、また近所の喫茶店は車いすの利用者も快く入店させてもらっています。運営推進会議メンバーでもある民生児童委員は、隔月で開催される「つくしの会（地域の65歳以上の高齢者が対象の食事会）」へと繋いだり、「津波、水害が怖い…」との事業所のために対応策を調べてくださり、心強い地域の応援者です。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 取引の薬局は事業所の裏手に在り、運営推進会議メンバーとなってくださっています。またいきいき支援センター（地域包括支援センター）の出席回数は増えてはいないものの、会議を通じて顔なじみとなり、近親者がなく後見人や身元保証人が必要なケース等を協力し合って入居に結んだ例も数件に上っています。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 生活保護者の受入れは事業所の財源に影響を与える事ですが、制限は設けていません。現在17名の利用者が此処で生活していますが、13名が生活保護者なことから民生子ども課保護係との密な連携があり、「空室はありますか」といった問い合わせも随時入っています。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 利用者の意見は主にユニットカンファレンスで挙げて実現させていますが、「あれがしたい」「〇〇が食べたい」とあまり発しない利用者のために、事業所では月に1回のイベント企画を実施しています。また個別外出では回転寿司や喫茶店巡りもおこない、本や映画が好きな利用者は職員と図書館やレンタルビデオ店へと出かけています。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
総合評価	×	○	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎